

ごあいさつ
「医療の国際化
～赤十字から発する患者安全～」



第52回日本赤十字社医学会総会
会長 小松本 悟
(足利赤十字病院 院長)

第52回日本赤十字社医学会総会は、東部ブロックの足利赤十字病院が担当させていただきます。会期は、平成28年10月20日（木）、10月21日（金）の両日、開催地は、多くの皆様に参加いただけるよう、栃木県の県庁所在地 宇都宮市としました。会場は、栃木県総合文化センター、東武ホテルグランデを予定しております。

メインテーマは「医療の国際化 ～赤十字から発する患者安全～」であります。昨年度のテーマ「つなげよう赤十字の温故知新」から襷を繋ぎ、国際化への挑戦、歴史の継承、未来への可能性などをキーワードに、参加される赤十字の仲間と一緒に視野を広げ、絆を深めたいと思っております。

グローバル化が進む中、医療の国際化を考える時代が到来しました。国際規格の医療機能評価 JCI (Joint Commission International) の認定病院は、我が国でも増加傾向にあり、昨年挑戦した当院は日本で9番目の認定病院となりました。医療安全から患者安全へと、患者を中心と位置付けた国際的な安全基準は大変厳しいものでありますが、全てが納得のいく内容でありました。国際的な安全基準に目を向け、患者安全に対する組織全体の質の向上を赤十字全体で推進したいと考えております。

一日目は、JCIに対する理解を深めていただくことを目的に、JCIのバイスプレジデントである Paul Chang 氏を招聘し、基調講演とシンポジウムを企画しました。

特別講話では、日本赤十字社 近衛忠輝社長にご来場をいただき、世界最大の人道支援ネットワーク【国際赤十字・赤新月社連盟会長】として、「赤十字から見た人道の世界地図」と題し、ご講話をいただく予定です。

特別講演 I では、アジア初の女性宇宙飛行士で2度の宇宙飛行を行い、現在では宇宙医学の研究開発や地上への成果還元に取り組まれる、向井千秋先生をお招きし、「宇宙医学から学ぶ健康長寿」について、ご講演をいただきます。

特別講演Ⅱでは、世界遺産である日光東照宮 400 年式年を成功裏に挙行されました日光東照宮宮司 稲葉久雄様をお招きいたしました。「平和の光は日光から」と題し、日光東照宮 400 年式年を振り返り未来に向けて地域と共に歩む東照宮について、ご講演をお願いいたしました。

二日目は、福田恵一先生（慶應義塾大学循環器内科教授）に『iPS 細胞を用いた心筋再生医療実用化の現状』のご講演と、【iPS 細胞の臨床応用の実際】と題した下記の先生方によるシンポジウムの座長をお願いいたしました。

『脊髄再生医療はどこまで来たのか』と題して中村雅也先生（慶應義塾大学整形外科学教授）にご講演いただきます。榛村重人先生（慶應義塾大学眼科学教室准教授）には『iPS 細胞の眼科臨床応用に向けて』、高橋 淳先生（京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究分野教授）には『パーキンソン病治療に対する Cell-based・therapy』江藤浩之先生（京都大学 iPS 細胞研究所臨床応用研究部門教授・副所長）には『iPS 細胞由来血小板製造の出口戦略』をご講演いただく予定です。

医療人の集いは、会場よりシャトルバスで 10 分ほどのホテル東日本宇都宮を予定しております。移動でご不便をお掛けしますが、ご案内をいたしますのでご協力のほどお願い申し上げます。

さて、栃木県で思い浮かぶものは、ギョウザや苺と思われませんが、皆さんの知らない美味しい名物もたくさんございます。開催地宇都宮はカクテルとジャズの街とも言われています。各種カクテルやジャズ演奏もお楽しみいただきたいと思います。また、秋の栃木は絶好の景勝地でもあり、足利市には、国宝鏝阿寺、足利学校、ココファームワイナリー、フラワーパーク等がありますし、県北西部には、日光東照宮、華巖の滝、竜頭の滝、中禅寺湖などがありますので、ぜひ、足を延ばして日光詣をしていただけると幸いです。

第 52 回日本赤十字社医学会総会に、多くの赤十字職員が参加していただくことを、職員一同祈願しております。